

シミュレーション学研究科教員評価要綱

(趣旨)

第1条 本要綱は、シミュレーション学研究科教員評価委員会（以下、「委員会」という。）規程第2条第2項の評価（以下、「評価」という。）を行うために、必要な事項を定めるものとする。

(評価の対象)

第2条 評価は、毎年度、シミュレーション学研究科長（以下、「研究科長」という。）を除くシミュレーション学研究科教員（以下、「教員」という。）を対象に行う。

2 毎年度、10月2日以降に採用された教員については、当該年度の評価は行わない。

(目標の設定)

第3条 教員は、毎年度、年度目標を定め、設定目標（様式1）により、シミュレーション学研究科教員評価委員会委員長（以下、「委員長」という。）に報告する。

2 目標の設定は、毎年度当初に行う。ただし、評価実施年度の4月1日以降に採用された教員については、採用後すみやかに行うものとする。

3 目標は次に掲げる領域ごとに設定する。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 社会貢献
- (4) 管理・運営

4 領域ごとの重点割合は、原則として、1領域50%を超えないこととし、0%の領域をつくらぬこととする。ただし、研究科長が認めた場合は、この限りではない。

5 やむを得ない事情により変更の必要がある場合は、委員会と協議の上、目標を変更することができる。

6 委員会は、教員の設定した目標について、必要に応じて指導、助言を行うものとする。

(自己評価)

第4条 教員は、前年度の自己評価を行い、教員活動報告書（様式2）、目標に対する成果・実績（様式3）、領域別評価表（様式4）により委員長に報告する。

(評価の方法)

第5条 委員会は、自己評価に基づき、原則として複数の委員により、領域別評価と総合評価を実施する。

2 評価期間は、原則単年度とする。ただし、海外研究や休業等の期間については、評価を行わない。

3 領域別評価は、第3条第3項の領域毎に評価が最も低い「1」から最も高い「5」までの5段階で行う。

4 総合評価は、評価が高い順から「S」、「E」、「A」、「B」、「C」の5段階で行い、「S」は教員数の10%以内、「E」は「S」を含んだ教員数の30%以内とする。

5 委員会は、必要に応じて、教員から事情、意見等を聞く機会を設ける。

6 委員長は、評価の結果を教員評価結果通知書（様式5）により、研究科長に報告し、研究科長は、教員評価通知書（様式6）により教員に通知する。

(評価に対する異議申立て)

第6条 評価を受けた教員は、評価に関して異議がある場合には、教員評価通知書に対する異議申立書(様式7)により、研究科長に再評価を請求することができる。

- 2 前項の異議申立書には第三者からの意見書を添えることができる。
- 3 第1項に定める再評価の請求は、第5条第5項の通知があったことを知った日の翌日から起算して30日以内に行わなければならない。
- 4 研究科長は、前項までに定める適正な手続きに基づく再評価の請求を受けたときは、すみやかに委員会に付議しなければならない。
- 5 委員会は、再評価の実施の是非を判断し、必要と認めるときは再評価を行い、研究科長に報告しなければならない。
- 6 研究科長は、異議申立書を受理した日の翌日から起算して30日以内に、教員に書面をもってその結果を通知しなければならない。
- 7 再評価の請求の受付は1回限りとする。
- 8 教員は、再評価の結果に異議がある場合は、本部評価委員会に申し出ることができる。

(開示請求)

第7条 教員は、自己の事について記載された評価について、委員会に対して開示を請求することができる。

(守秘義務と情報公開の範囲)

第8条 各委員は、評価の過程で知り得た内容を、正当な理由なく漏らしてはならない。その職を退いた後においても、同様とする。

(保存期間)

第9条 本要綱に定める全ての評価に関する資料は、文書の処理が完了した日の属する会計年度の翌年度の初日から起算して10年間保管する。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、シミュレーション学研究科及び神戸情報科学キャンパス経営部総務学務課において行う。

(補則)

第11条 この規程に定めるもののほか、評価に関して必要な事項は、委員会において別に定める。

附 則

(施行期日)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

(様式1)

平成()年度設定目標

氏名	職種名 教授 准教授 講師 助教 助手
部局名	

対象領域	目標課題	目標内容	重点割合
教育			%
研究			%
社会貢献			%
管理・運営			%

平成()年度～平成()年度 教員活動報告書

対象期間 平成()年4月～平成()年3月

対象期間 平成()年4月～平成()年3月

対象期間 平成()年4月～平成()年3月

(平成()年4月1日現在)

(平成()年4月1日現在)

(平成()年4月1日現在)

項目	平成()年度	平成()年度	平成()年度
部署名			
学科目・専攻・分野等			
職・氏名(職員番号)			
生年月日(年齢)			
最終学歴			
学位及び資格			
採用年月日(本学在職年数)	昭和・平成 年 月 日 採用(在職 年 月)	昭和・平成 年 月 日 採用(在職 年 月)	昭和・平成 年 月 日 採用(在職 年 月)
記入日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

1 教育

項目	活動実績		
	平成()年度	平成()年度	平成()年度
(1) 大学院学生(博士前期・後期課程)の直接指導人数	名 博士前期 博士後期	名 博士前期 博士後期	名 博士前期 博士後期
(2) 学位(学士・修士・博士)論文またはこれに準ずるものの指導人数	名 学部 大学院	名 学部 大学院	名 学部 大学院
(3) クラス担任、進路・就職指導			
(4) 課外活動責任者等			
(5) 学生生活相談・指導			

項 目	活 動 実 績		
	平成()年度	平成()年度	平成()年度
(6) 指導した学部学生や大学院学生が学術雑誌等に発表した論文			
(7) 指導した学部学生や大学院学生の学会発表、国内会議論文、受賞等			
(8) 研究生、留学生等の受入人数と指導人数等			
(9) 教育活動の実施状況			
(10) 教育活動改善への取組状況			
(11) 講義・演習・実習等の実施状況			
(12) 学生による授業評価アンケートとその活用			
(13) 学部及び大学院学生の海外留学支援			
(14) 教育活動に対する受賞			
(15) 他大学における非常勤講師			
(16) その他			

2 研究

項 目	活 動 実 績		
	平成()年度	平成()年度	平成()年度
(1) 学術論文			
(2) 学会からの招待論文 (新規項目)			
(3) 著書			
(4) 学術書・論文等の翻訳			
(5) 書評			
(6) 国際学会における発表			
(7) 国内学会における発表			
(8) 学会活動			
(9) 研究業績に対する受賞			
(10) 特許等			
(11) 国際交流			
(12) 海外での研究			
(13) 国内交流			
(14) 海外出張			
(15) その他			

3 社会貢献

項目	活動実績		
	平成()年度	平成()年度	平成()年度
(1) 審議会等への参画			
(2) 他機関等における特別講義等			
(3) 生涯学習			
(4) 産学・地域連携等			
(5) 国際交流			
(6) 社会貢献活動に対する受賞			
(7) 新聞・雑誌などへの掲載、テレビ・ラジオなどへの出演			
(8) その他			

4 管理・運営

項目	活動実績		
	平成()年度	平成()年度	平成()年度
(1) 副学長			
(2) 初局長、副機構長、学生副部長、学部学生部長、自然・環境科学研究所次長、学術総合情報センター副センター長、学術情報館長			
(3) 評議員、運営協議会委員			
(4) 学長特別補佐			
(5) センター長補佐			
(6) 全学委員会委員(長)、部会等の委員(長)			

項 目	活動実績	
	平成()年度	平成()年度
(7) 部局委員会委員(長)、 部会等の委員(長)		
(8) その他		

5 外部資金の獲得

項 目	活動実績																												
	平成()年度	平成()年度																											
(1) 科学研究費補助金	年度	種別・研究テーマ	代表者名	代表又は は分担	採択の 可否	申請金額(千円) 25年度	採択金額(千円) 25年度	総額	年度	種別・研究テーマ	代表者名	代表又は は分担	採択の 可否	申請金額(千円) 26年度	採択金額(千円) 26年度	総額	年度	種別・研究テーマ	代表者名	代表又は は分担	採択の 可否	申請金額(千円) 27年度	採択金額(千円) 27年度	総額					
	1								1									2											
	2								2									3											
	3								3									4											
(2) 他の競争的外部資金 獲得状況	年度	種別・研究テーマ	代表者名	代表又は は分担	採択の 可否	申請金額(千円) 25年度	採択金額(千円) 25年度	総額	年度	種別・研究テーマ	代表者名	代表又は は分担	採択の 可否	申請金額(千円) 26年度	採択金額(千円) 26年度	総額	年度	種別・研究テーマ	代表者名	代表又は は分担	採択の 可否	申請金額(千円) 27年度	採択金額(千円) 27年度	総額					
	1								1								2												
	2								2								3												
	3								3								4												
(3) 研究助成金、受託研 究、共同研究等の受け入 れ状況	期間	名称	研究課題	受入金額 (千円)	年度	種別・研究テーマ	代表者名	代表又は は分担	採択の 可否	申請金額(千円) 25年度	採択金額(千円) 25年度	総額	年度	種別・研究テーマ	代表者名	代表又は は分担	採択の 可否	申請金額(千円) 26年度	採択金額(千円) 26年度	総額	年度	種別・研究テーマ	代表者名	代表又は は分担	採択の 可否	申請金額(千円) 27年度	採択金額(千円) 27年度	総額	
	1													1															
	2													2															
	3													3															
(4) その他																													

6 その他特記事項

	平成()年度
	平成()年度

平成()年度～平成()年度 目標に対する成果・実績

項目	平成()年度	平成()年度	平成()年度
部署名			
職・氏名			

対象領域	平成()年度			平成()年度			平成()年度		
	目標課題	重点割合	成果・実績の具体的内容	目標課題	重点割合	成果・実績の具体的内容	目標課題	重点割合	成果・実績の具体的内容
教育		%			%			%	
研究		%			%			%	
社会貢献		%			%			%	
管理・運営		%			%			%	
	反省点・コメント			反省点・コメント			反省点・コメント		

平成()年度～平成()年度 領域別評価表(教員用)

項目	平成()年度	平成()年度	平成()年度
部局名			
職・氏名			

1 教育

(1) 項目と評価

項目	評価		
	平成()年度	平成()年度	平成()年度
当該年度の目標に対する実績	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
到達目標を明確にした教育展開	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
学生の理解度に合わせた教育展開	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
学位(学士・修士・博士)論文またはこれに準ずるものの指導	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
課外活動の指導、学生生活相談・指導	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
外部支援	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。

(2) 教育活動全般の評価

評価点	評価		
	平成()年度	平成()年度	平成()年度
5	特に優れている	特に優れている	特に優れている
4	優れている	優れている	優れている
3	普通	普通	普通
2	やや問題があり改善の余地がある	やや問題があり改善の余地がある	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する	問題があり改善を要する	問題があり改善を要する

2 研究

(1) 項目と評価

項目	評価		
	平成()年度	平成()年度	平成()年度
当該年度の目標に対する実績	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
研究水準及びその研究内容	研究水準 研究内容の獨創性 研究成果の公表	・高い ・普通 ・低い ・高い ・普通 ・低い ・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い ・高い ・普通 ・低い ・高い ・普通 ・低い
外部支援	当該研究分野への学問的貢献	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
外部支援	研究に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。

(2) 研究活動全般の評価

評 点	評 価	
	平成()年度	平成()年度
5	特に優れている	特に優れている
4	優れている	優れている
3	普通	普通
2	やや問題があり改善の余地がある	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する	問題があり改善を要する

3 社会貢献

(1) 項目と評価

項 目	評 価		
	平成()年度	平成()年度	
当該年度の目標に対する実績	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない	
社会貢献の内容	審議会等への参画	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
	生涯学習	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
	産学・地域連携	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
	国際交流	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
外部支援	上記以外の社会貢献 ()	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
	社会貢献に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。

(2) 社会貢献全般の評価

評 点	評 価	
	平成()年度	平成()年度
5	特に優れている	特に優れている
4	優れている	優れている
3	普通	普通
2	やや問題があり改善の余地がある	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する	問題があり改善を要する

4 管理・運営
(1) 項目と評価

項目	評価		
	平成()年度	平成()年度	平成()年度
当該年度の目標に 対する実績	a. 目標を超過して成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げていないと言えない	a. 目標を超過して成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げていないと言えない	a. 目標を超過して成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げていないと言えない
大学管理・運営の 内容	部長長等としての貢献	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	全学委員、部局委員等としての貢献	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	上記以外の管理・運営への貢献 ()	・高い ・普通 ・低い	・高い ・普通 ・低い
外部支援	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。

(2) 管理・運営全般の評価

評価点	評価	
	平成()年度	平成()年度
5	特に優れている	5 特に優れている
4	優れている	4 優れている
3	普通	3 普通
2	やや問題があり改善の余地がある	2 やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する	1 問題があり改善を要する

(様式5)

平成 年 月 日

シミュレーション学研究科長 様

教員評価委員会
委員長 ○○ ○○ ㊟

教員評価結果通知書

教員評価に関する委員会の検討結果につきまして、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 評価対象者
職名
氏名
- 2 評価結果
別紙「評価報告書」のとおり。

評価報告書

氏名	職種名 教授 准教授 講師 助教 助手
部局名	

I 領域別評価

1 教育

(1) 項目と評価

	項 目	評 価
評価期間の目標に対する実績	評価期間の目標に対する成果	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
教育内容及びその方法	到達目標を明確にした教育展開	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	学生の理解度に合わせた教育展開	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	学位（学士・修士・博士）論文またはこれに準ずるものの指導	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	課外活動の指導、学生生活相談・指導	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
外部支援	教育に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。（ 件 千円） b. 獲得していない。

(2) 教育活動全般の評価

評 点	評 価
5	特に優れている
4	優れている
3	普通
2	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する

2 研究

(1) 項目と評価

	項 目	評 価
評価期間の目標に対する実績	評価期間の目標に対する成果	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
研究水準及びその研究内容	研究水準	・高い ・普通 ・低い
	研究内容の独創性	・高い ・普通 ・低い
	研究成果の公表	・高い ・普通 ・低い
	当該研究分野への学問的貢献	・高い ・普通 ・低い
外部支援	教育に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。（ 件 千円） b. 獲得していない。

(2) 研究活動全般の評価

評 点	評 価
5	特に優れている
4	優れている
3	普通
2	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する

3 社会貢献

(1) 項目と評価

項 目		評 価
評価期間の目標に対する実績	評価期間の目標に対する成果	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
社会貢献の内容	審議会等への参画	・高い ・普通 ・低い
	生涯学習	・高い ・普通 ・低い
	産学・地域連携	・高い ・普通 ・低い
	国際交流	・高い ・普通 ・低い
	上記以外の社会貢献 ()	・高い ・普通 ・低い
外部支援	社会貢献に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。

(2) 社会貢献全般の評価

評 点	評 価
5	特に優れている
4	優れている
3	普通
2	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する

4 管理・運営

(1) 項目と評価

項 目		評 価
評価期間の目標に対する実績	評価期間の目標に対する成果	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
大学管理・運営の内容	部局長等としての貢献	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	全学委員、部局委員等としての貢献	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	上記以外の管理・運営への貢献 ()	・高い ・普通 ・低い
外部支援	管理・運営に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。

(2) 管理・運営全般の評価

評点	評価
5	特に優れている
4	優れている
3	普通
2	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する

II 総合評価

1 総合評価 (コメント)

--

2 総合評価

評点	評価
S	特に優れている
E	優れている
A	普通
B	やや問題があり改善の余地がある
C	問題があり改善を要する

総合評価は、教育、研究、社会貢献、管理・運営それぞれの評価点にかかわらず、「S」については、教員数の10%以内、「E」については、「S」を含んだ教員数の30%以内としてください。

(様式6)

平成 年 月 日

シミュレーション学研究科
〇〇 〇〇 様

シミュレーション学研究科長

教員評価通知書

教員評価委員会において審議いたしました結果について、下記のとおり通知いたします。

記

- 1 評価対象者
職名
氏名
- 2 評価結果
別紙「評価報告書」のとおり。

評価報告書

氏名	職種名 教授 准教授 講師 助教 助手
部局名	

I 領域別評価

1 教育

(1) 項目と評価

	項 目	評 価
評価期間の目標に対する実績	評価期間の目標に対する成果	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
教育内容及びその方法	到達目標を明確にした教育展開	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	学生の理解度に合わせた教育展開	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	学位（学士・修士・博士）論文またはこれに準ずるものの指導	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	課外活動の指導、学生生活相談・指導	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
外部支援	教育に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。（ 件 千円） b. 獲得していない。

(2) 教育活動全般の評価

評 点	評 価
5	特に優れている
4	優れている
3	普通
2	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する

2 研究

(1) 項目と評価

	項 目	評 価
評価期間の目標に対する実績	評価期間の目標に対する成果	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
研究水準及びその研究内容	研究水準	・高い ・普通 ・低い
	研究内容の独創性	・高い ・普通 ・低い
	研究成果の公表	・高い ・普通 ・低い
	当該研究分野への学問的貢献	・高い ・普通 ・低い
外部支援	教育に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。（ 件 千円） b. 獲得していない。

(2) 研究活動全般の評価

評 点	評 価
5	特に優れている
4	優れている
3	普通
2	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する

3 社会貢献

(1) 項目と評価

項 目		評 価
評価期間の目標 に対する実績	評価期間の目標に対する成果	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
社会貢献の内容	審議会等への参画	・高い ・普通 ・低い
	生涯学習	・高い ・普通 ・低い
	産学・地域連携	・高い ・普通 ・低い
	国際交流	・高い ・普通 ・低い
	上記以外の社会貢献 ()	・高い ・普通 ・低い
外部支援	社会貢献に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。

(2) 社会貢献全般の評価

評 点	評 価
5	特に優れている
4	優れている
3	普通
2	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する

4 管理・運営

(1) 項目と評価

項 目		評 価
評価期間の目標 に対する実績	評価期間の目標に対する成果	a. 目標を超えて成果を上げている b. 概ね目標を達成している c. 成果を上げているとは言えない
大学管理・運営 の内容	部局長等としての貢献	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	全学委員、部局委員等としての貢献	・高い ・普通 ・低い ・該当しない
	上記以外の管理・運営への貢献 ()	・高い ・普通 ・低い
外部支援	管理・運営に対する外部資金の獲得	a. 獲得した。(件 千円) b. 獲得していない。

(2) 管理・運営全般の評価

評 点	評 価
5	特に優れている
4	優れている
3	普通
2	やや問題があり改善の余地がある
1	問題があり改善を要する

II 総合評価

1 総合評価 (コメント)

--

2 総合評価

評 点	評 価
S	特に優れている
E	優れている
A	普通
B	やや問題があり改善の余地がある
C	問題があり改善を要する

総合評価は、教育、研究、社会貢献、管理・運営それぞれの評価点にかかわらず、「S」については、教員数の10%以内、「E」については、「S」を含んだ教員数の30%以内としてください。

(様式7)

平成 年 月 日

シミュレーション学研究科長
〇〇 〇〇 様

シミュレーション学研究科

(職氏名) 〇〇〇・〇〇 〇〇 印

教員評価通知書に対する異議申立書

平成〇年〇月〇日付けで通知のあった通知書の内容について、下記のとおり異議を申し立てます。つきましては、当方の指摘事項を考慮のうえ、再審査下さるようお願い申し上げます。

記

異議申立の理由：

再審査にあたっての指摘事項：

(注) この異議申立書には第三者からの意見書を添えることができる。